

# 日本における上場企業のメザニン・ファイナンス

杉浦慶一（株式会社日本バイアウト研究所）

2000年代後半より、日本の上場企業がメザニン・ファイナンス（**mezzanine finance**）による資金調達を行うケースが登場した。メザニン・ファイナンスは、デット・ファイナンスとエクイティ・ファイナンスの中間に位置付けられる資金調達方法であり、優先株式、劣後社債、劣後ローンなどを指す。

メザニン・ファイナンスの出し手としては、銀行、保険会社、ノンバンクなどがあげられるが、メザニン・ファンドも活躍している。2000年代半ば頃より、中央三井キャピタル（現三井住友トラスト・キャピタル）、メザニン（MCo）、みずほキャピタルパートナーズ、DBJ コーポレート・メザニン・パートナーズ、ソリューションデザインがメザニン・ファンドの立ち上げを行い、上場企業では、東日本ハウス、イー・アクセス、ウエストホールディングス、日本板硝子、ラックホールディングス（現ラック）などへの投資が実行された。

本報告では、まずメザニン・ファイナンスの特徴について述べた上で、その活用事例として、東日本ハウス、イー・アクセス、ウエストホールディングス、日本板硝子、ラックホールディングス（現ラック）などの事例を取り上げて、対象企業の資金調達の背景、財務状況、優先株式のスキーム、メザニン・ファンドによる投資回収の概要について分析し、当該上場企業においてメザニン・ファイナンスが果たした役割について考察する。

## 参考文献

- 笹山幸嗣・村岡香奈子（2008）『M&A ファイナンス（第2版）』金融財政事情研究会。
- 杉浦慶一（2009）「日本板硝子の優先株式発行によるメザニン・ファイナンス」日本バイアウト研究所編『日本バイアウト市場年鑑—2009年上半期版—』日本バイアウト研究所, pp.80-87.
- 谷口研之（2010）「ラックホールディングスのメザニン・ファイナンス～ファンドによる資本増強ニーズへの対応事例～」日本バイアウト研究所編『日本バイアウト市場年鑑—2009年下半期版—』日本バイアウト研究所, pp.104-111.
- 三上二郎（2010）「コーポレート型メザニンファイナンスの設計」日本バイアウト研究所編『日本バイアウト市場年鑑—2009年下半期版—』日本バイアウト研究所, pp.123-133.
- 宮崎直（2010）「MH メザニン投資事業有限責任組合の投資取組状況」日本バイアウト研究所編『日本バイアウト市場年鑑—2009年下半期版—』日本バイアウト研究所, pp.112-122.
- 宮崎直・水野寛之（2012）「コーポレート・メザニンの投資事例～東日本ハウスとウエストホールディングス～」日本バイアウト研究所編『日本バイアウト市場年鑑—2011年下半期版—』日本バイアウト研究所, pp.156-170.